ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号（NO.）などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号（NO.）
販売店（TEL）	

お客様相談センター【ご利用時間 9：00～18：00】※全日対応（土・日・祝日対応）
●フリーダイヤル 0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから最新の電話番号をご確認いただけます。

https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html

●北海道支店	TEL (011) 786－5122	●北 陸 支 店	TEL (076) 263－4311
●東 北 支 店	TEL (022) 288－8676	●関 西 支 店	TEL (06) 7167－3644
●東 京 支 店	TEL (03) 5753－7703	●中 国 支 店	TEL (082) 504－8282
●関 東 支 店	TEL (03) 6374－5687	●四 国 支 店	TEL (087) 863－6761
●中 部 支 店	TEL (052) 533－0231	●九 州 支 店	TEL (092) 621－5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL (03) 5783-0626（代）
電動工具ホームページ ── https://www.hikoki-powertools.jp

部品コード　C99221203　310 G

取扱説明書

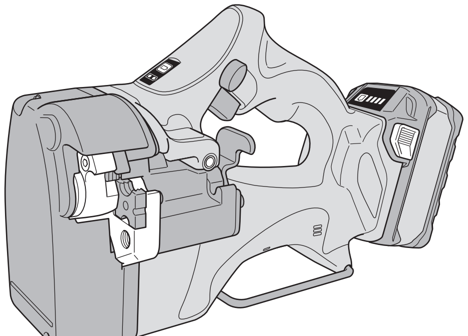
用途

●全ねじの切断（下記サイズ）
W1/2：軟鋼のみ
W3/8：軟鋼・ステンレス
W5/16、M12、M10、M8、M6：軟鋼のみ

コードレス全ねじカッタ

18 V　CL 18DSAL

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

はじめに
コードレス工具の安全上のご注意… 1
本製品の使用上のご注意…………… 5
リチウムイオン電池の使用上のご注意… 7
各部の名称…………………………… 9
仕様…………………………………… 11
別売部品……………………………… 13

使い方
各種操作方法について…………… 14
切断する…………………………… 19
作業上のご注意…………………… 21
カッタの取りはずし・取付け…… 21
つり下げ、固定された全ねじの切断… 25
定寸切断作業……………………… 26
全ねじのバリ取りについて……… 27
切断途中の全ねじのはずし方…… 28

その他
保守・点検………………………… 29
故障診断…………………………… 32
ご修理のときは…………………裏表紙

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 ：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 蓄電池の端子間を短絡（ｼｮｰﾄ）させないでください。
釘袋などに入れると、短絡（ｼｮｰﾄ）して、発煙･発火･破裂などの恐れがあります。

③ 蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。
- 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用･充電･保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。

⑤ 保護メガネを使用してください。
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑥ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⑦ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑧ 不意な始動は避けてください。
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑨ 指定の付属品や別売部品を使用してください。
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品を使用してください。事故やけがの原因になります。

⑩ 蓄電池を火の中に投入しないでください。
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。
- 作業者以外､コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で､子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

④ **無理して使用しないでください。**
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  発煙、発火の恐れがあります。

⑤ **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**
- 大形のコードレス工具で行う作業には、小形のコードレス工具・別売部品を使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ **きちんとした服装で作業してください。**
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
  回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑧ **コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。**
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ **調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。**
調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ **油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ **十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。**
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⚠注意

⑫ **アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用しないでください。**
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⑬ **損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ **コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業を含む）で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレス全ねじカッタについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① **使用中は、機体をしっかりと保持してください。**

② **スイッチを操作する際、カッタに指を近づけないでください。**

③ **使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。**

④ **誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やカッタ類などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。**

⑤ **カッタの点検、掃除、交換の際は蓄電池をコードレス工具本体から取りはずしてください。**

⑥ **機体を持ち運んだり、保管したり、作業を休止している際は、正逆切替ボタンをロックの位置にしておいてください。**
ロックの位置にしておかないと、不意にスイッチが入り、けがの原因になります。
(P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照)

⑦ **工具本体の端子部(蓄電池取付部)に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。**
- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

短絡(ｼｮｰﾄ)して、発煙・発火などの恐れがあります。

⑧ **工具本体の端子部(蓄電池取付部)に変形が生じた場合は、使用しないでください。**
短絡(ｼｮｰﾄ)して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

① **工具類(カッタ)や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**

② **高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。**
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

③ **精密部品を内蔵しているので、機体で材料をたたく、落下等の強い衝撃を加える、水にぬらすなどしないでください。**
誤作動等をおこす原因になります。

④ **スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。**

⑤ **蓄電池は確実に取付けてください。**

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

- 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
- 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
- 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。

② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。

⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。

⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。

⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠注意

① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。

② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。

④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。

⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

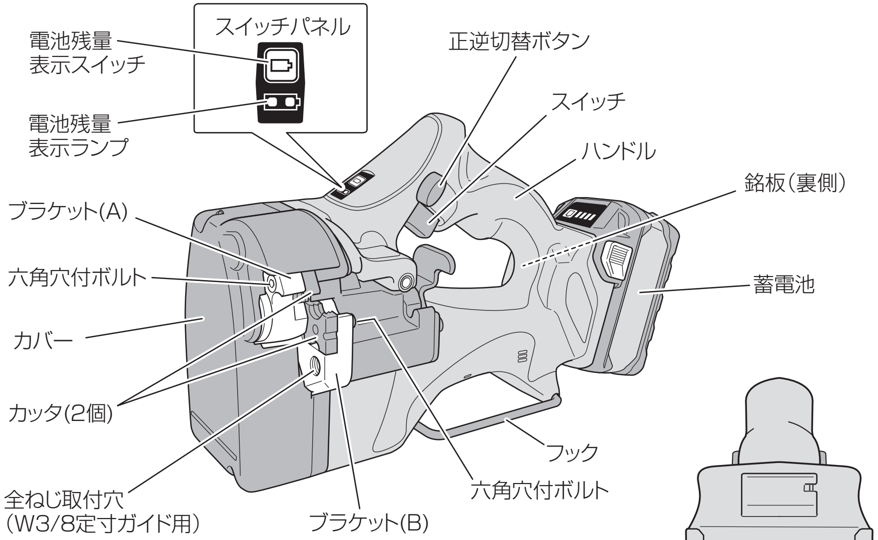
蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

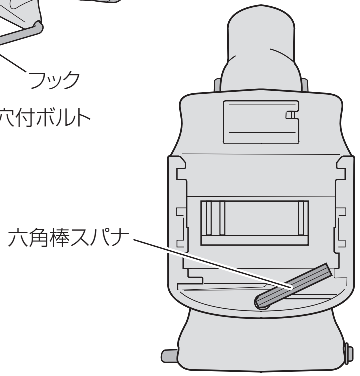
Li-ion
リチウムイオン電池は
リサイクルへ

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください
弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称

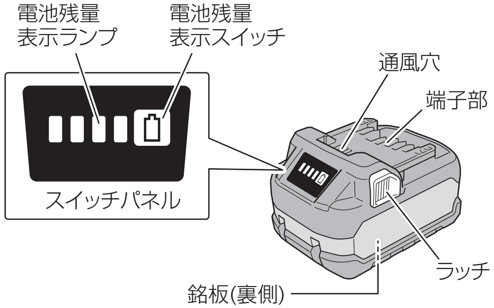
工具本体



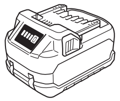
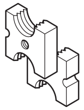
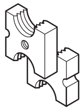
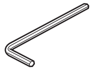
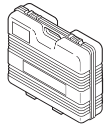
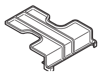


【蓄電池を取りはずした状態】

蓄電池



標 準 付 属 品

品　名 ＼ 仕　様	LXPKZ	NN
蓄電池 BSL 36A18X 	1 個 [本体装着]	–
充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。	1 台	–
W1/2 カッタ 	1 組	1 組
W3/8 カッタ 	1 組 [本体装着]	1 組 [本体装着]
スペーサ (A) (刻印：A) ※	2 個 [本体装着]	2 個 [本体装着]
六角棒スパナ 	1 個 [本体収納]	1 個 [本体収納]
収納ケース 	1 個	–
電池カバー 	1 個	–

※ スペーサ (A)(刻印：A) は、W1/2、M12 以外のカッタ取付け時の厚み調整用です。

仕　様

1. 工具本体

形　名	CL 18DSAL
切断能力※	軟鋼全ねじ：W1/2、W3/8、W5/16、M12、M10、M8、M6 ステンレス全ねじ：W3/8
無負荷ストローク数［気温20℃満充電時］	25 min^{-1}｛回/分｝
モーター	直流モーター
蓄電池	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	18 V
使用可能蓄電池	リチウムイオン電池　●マルチボルトタイプ蓄電池 ●18 V　(BSL18**シリーズ) ●14.4 V (BSL14**シリーズ)
工具本体寸法 全長×全幅×全高	312 × 114 × 185 mm ［BSL 36A18X 装着時］
質量	4.3 kg ［BSL 36A18X 装着時］
電池残量表示ランプ	赤色 LED

※ 指定サイズの全ねじ以外の切断にはご使用できません。

注 **黄銅全ねじや W3/8 以外のステンレス全ねじを切断すると、ねじ山が変形し、ナットが入りません。**
また、焼き入れボルト、異なるサイズの全ねじ、鉄筋などを切断すると、機体を破損する場合がありますので、使用しないでください。

2. 蓄電池

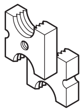
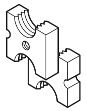
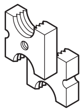
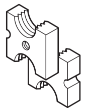
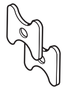
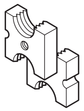
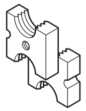
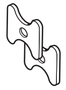
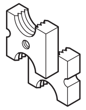
形　名	BSL 36A18X
種類	円筒密閉形リチウムイオン電池
電池電圧	36 V / 18 V (工具本体により自動切替)
容量	2.5 Ah / 5.0 Ah (工具本体により自動切替)
冷却	対応
使用可能※ コードレス製品	18 V 品：使用可 36 V 品：マルチボルトタイプ蓄電池対応製品
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18***シリーズ
残量表示ランプ	緑色 LED

※ ご利用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

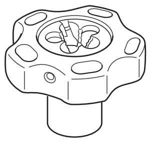
別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

カッタ
W1/2、M12 以外のカッタを本体へ装着するときは、
標準付属品のスペーサ A(刻印：A) を使用します。
(詳細は、P.24「❷カッタとスペーサを取付ける」参照)

カッタ名	セット内容		カッタ名	セット内容	
	カッタ	スペーサ		カッタ	スペーサ
W1/2 カッタ		ー	M12 カッタ組		M12 スペーサ (刻印：M12)
W3/8 カッタ		ー	M10 カッタ組		M10 スペーサ (刻印：M10) 
W5/16 カッタ組		W 5/16 スペーサ (刻印：W 5/16)	M8 カッタ組		M8 スペーサ (刻印：M8) 
			M6 カッタ組		M6 スペーサ (刻印：M6)

トリマ
全ねじを切断した後のバリ取り用にご使用ください。
下記の 5 種類のサイズをご用意しています。
W3/8：軟鋼・ステンレス用
W5/16、M10、M8、M6：軟鋼用

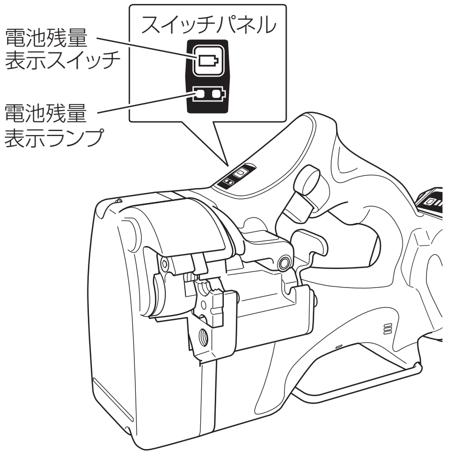


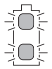
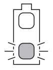
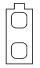
各種操作方法について

●工具本体の電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



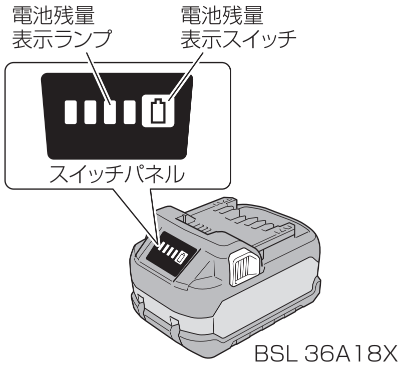
ランプの点灯状態	電 池 残 量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

注 **残量表示機能のある蓄電池を使用する際は、蓄電池側の残量表示を参照してください。**

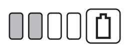
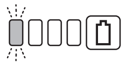
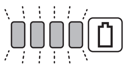
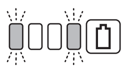
●蓄電池の電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



注 **残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。**

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
	点灯	50% ～ 75% 未満
	点灯	25% ～ 50% 未満
	点灯	25% 未満
	点滅	0%
	点滅	高温のため出力停止※1
	点滅	故障のため出力停止※2

※1：蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2：蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

●1 充電当たりの作業量について

1 充電当たりの切断回数の目安を示します。
（切断回数は、カッタの状態、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。）

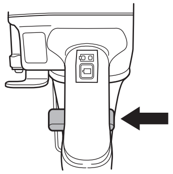
［蓄電池 BSL 36A18X 使用時］

	W1/2	W3/8
軟鋼	約 580 本	約 1,540 本

●正逆切替ボタンの使い方

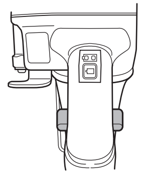
作業に応じて切断、ロック、開放の３位置にボタンを切り替えてください。

切 断



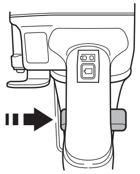
切断作業時に、ボタンを右から押し込みます。
スイッチを引くと、モーターが起動し、カッタが動きます。

ロック



運搬や保管、作業休止の際には、中央の位置にします。
スイッチを引いてもモーターは起動しません。

開 放



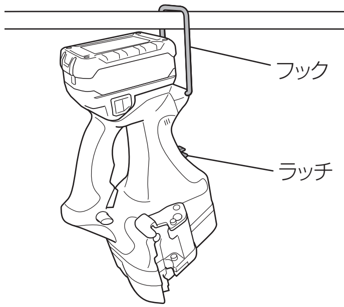
ボタンを左から押し込みながらスイッチを引いて、カッタから全ねじをはずし、すぐにスイッチを切ります。
（P.28「切断途中の全ねじのはずし方」参照）

●フックの使い方

⚠警告

- **このフックは人体へのつり下げ用ではありません。**
  ベルトやズボンなど人体へのつり下げは、けがの原因になります。
- **フックを使用するとき、機体が滑り落ちたり、風などで不安定にならないことを確認してください。**
- **通常使用されるとき、または保管するときは、フックを機体底部のラッチに収納しておいてください。**

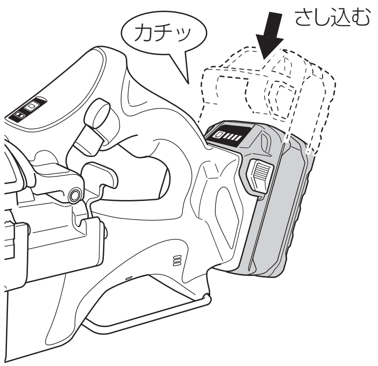
作業中に機体を一時的に置くとき、フックを利用されると便利です。



●蓄電池の取付け・取りはずし

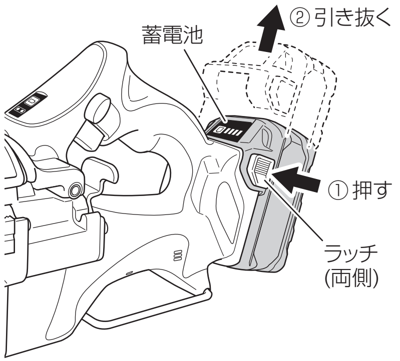
取付けるとき

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



取りはずすとき

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



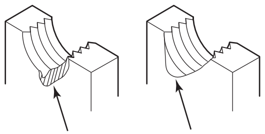
切断する

●下記サイズの全ねじを切断します
W1/2(通称４分全ねじ)：軟鋼のみ
W3/8(通称３分全ねじ)：軟鋼・ステンレス
W5/16(通称２分５厘全ねじ)、M12、M10、M8、M6：軟鋼のみ

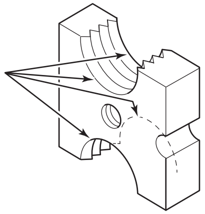
⚠警告

カッタの点検の際は、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

1 カッタ刃部を確認する

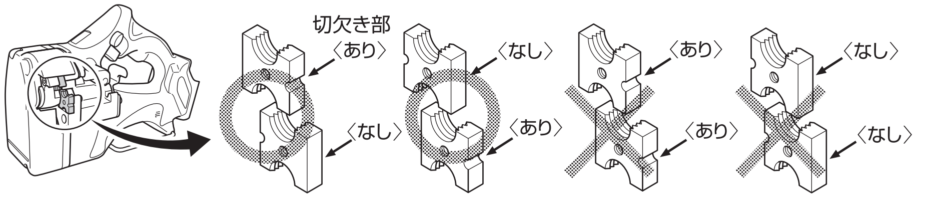


- 右図のように、刃部に<欠け>や<変形>を生じたカッタをそのまま使用すると、全ねじの切断部にバリを生じたり、ねじ山が変形してきれいに切断できなくなり、ナットが入らなくなります。
- 刃部に欠けや変形がある場合は、上下２個のカッタの取付け向きを変えて新しい刃部を使用するか、または新しいカッタに交換してください。
(P.21「カッタの取りはずし・取付け」参照)



2 カッタ取付け向きを確認する

カッタの取付け向きにはねじ山の方向性があるため、機体正面から見て、上下２個のカッタの側面切欠き溝が下図に示す<あり>と<なし>の正しい組み合わせ(２通り)になっているかご確認ください。



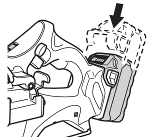
注 **２個のカッタを取付けている２本の六角穴付ボルトがしっかり締付けられているか、本体蓄電池挿入部に装着してある(P.9「各部の名称」参照)六角棒スパナを使用してご確認ください。**
ボルトがゆるんだ状態でご使用になると、機体やカッタの破損をまねくことがあります。

⚠警告

- **スイッチ操作時は、カッタに指を近づけないでください。**
- **短い全ねじを切断するなどの作業では、機体と全ねじのすき間(蓄電池部と全ねじのすき間など)に指を挟まないようにしてください。**

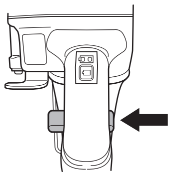
3 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



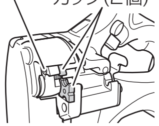
4 正逆切替ボタンを切断にセットする 切 断

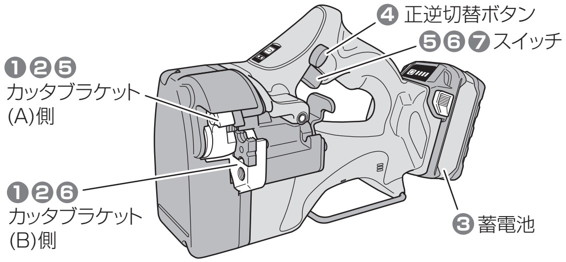
ボタンを右から押し込み、切断の位置にします。
(P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照)



5 カッタを開く

スイッチを軽く引いて、ブラケット(A)を動かし、カッタが開いた状態で停止させます。





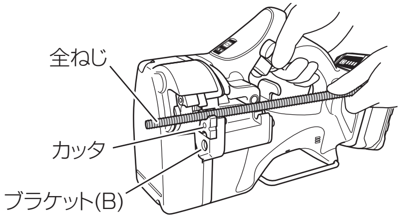
⚠注意

蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

6 全ねじをセットしてスイッチを入れる

切断する全ねじをブラケット(B)側のカッタに、ねじ山が正しくかみ合うようにセットします。

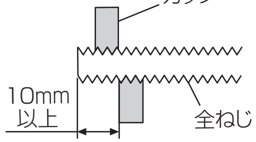
スイッチをいっぱいに引いて、全ねじを切断します。



7 スイッチを切る

全ねじ切断後、カッタが開いた状態でスイッチを切ると、次の作業がしやすくなります。

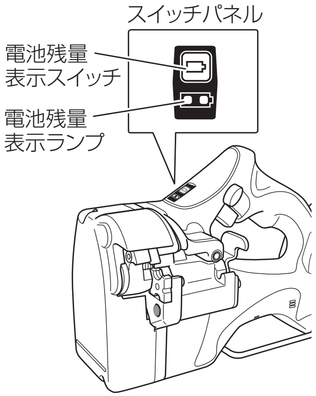
注 **全ねじを10 mm以下の長さに切断すると、全ねじとカッタのかみ合い長さが短くなり、カッタの損傷につながります。10 mm以上の長さで切断してください。**



作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。
連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は本機を十分に冷ましてください。
温度が下がれば再び使用することができます。
また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時にコードレス工具本体を１５分程度休ませてからご使用ください。
蓄電池の交換後すぐに作業を続けますとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。
なお、温度保護回路が作動しているときに、スイッチを入れると電池残量表示ランプが点滅します。



カッタの取りはずし・取付け

⚠警告

カッタの点検の際は、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

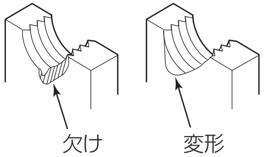
●カッタの寿命

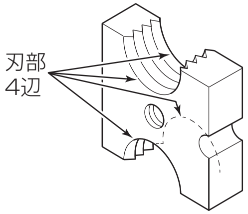
カッタは全ねじの切断の繰り返しにより図に示すように、刃に<欠け>や<変形>を生じてきます。

そのままご使用を続けますと、全ねじの切断部にバリが生じたり、ねじ山が変形したりしてきれいに切断できず、ナットが入らなくなります。

カッタには右図に示すように、刃部が4辺ついていますので、P.23「カッタの取付け」に示す方法でカッタの取付け向きを変えることにより、４回使用できます。

刃部の欠けや変形によってナットが全ねじに入らない場合は、欠けや変形のない刃部を使用するようカッタの取付け向きを変えるか、または新しいカッタと交換してください。

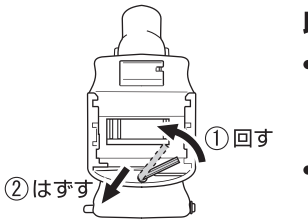




●六角棒スパナの取り出し・収納

取り出し

- 蓄電池を取りはずしてください。
- 六角棒スパナを反時計方向に回して引っ張り、取りはずします。



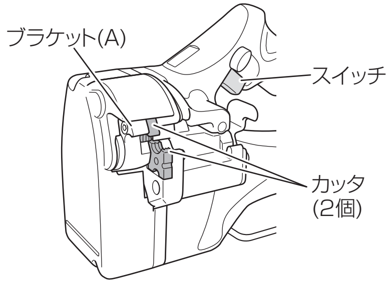
収納する

- 六角棒スパナを取付穴にさし込み、時計方向に回して引っかけ、固定します。
- 蓄電池を取付けてください。

●カッタの取りはずし

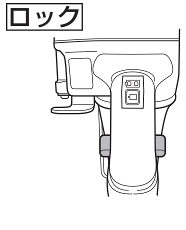
1 カッタを開く

スイッチを軽く引いて、ブラケット（A）を動かし、カッタが開いた状態で停止させます。

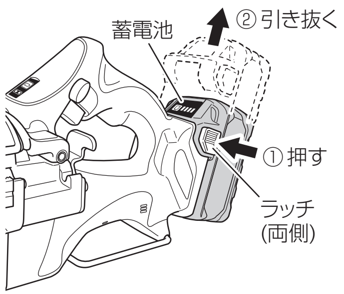


2 正逆切替ボタンをロックの位置にする

P.16「正逆切替ボタンの使い方」参照

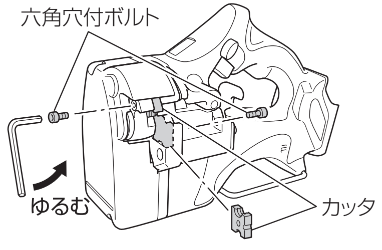


3 蓄電池を取りはずす



4 カッタを取りはずす

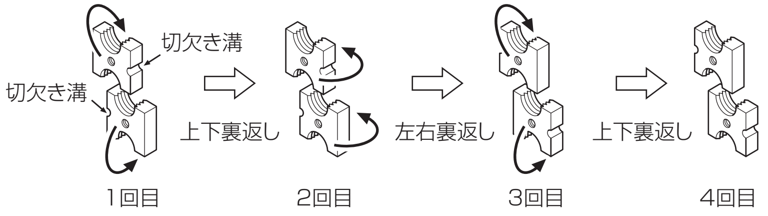
- 付属の六角棒スパナで六角穴付ボルト（2本）をゆるめて、上下２個のカッタを取りはずします。
- スペーサがある場合は、スペーサも取り出してください。



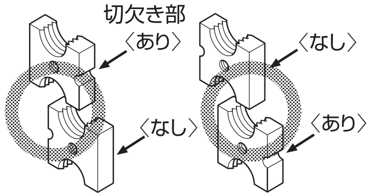
●カッタの取付け

1 カッタを準備する

- カッタを２個用意して、刃部の欠けや変形を確認し、カッタの取付面にふくらみがある場合には、ヤスリなどで平らに仕上げてください。
- 刃部の取付け向きを変えれば、１個のカッタを４回ご使用いただけます。

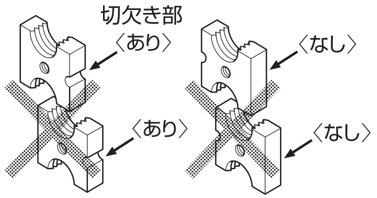


- 刃部の位置を変える際は、カッタ同士の位置関係があります。
  機体の正面から見て、図のようにカッタ側面の切欠き溝を〈あり〉と〈なし〉の関係にします。



- ブラケット (A)(B) のカッタ取付け溝内に付着した切粉は、ブラシなどで取り除いてください。

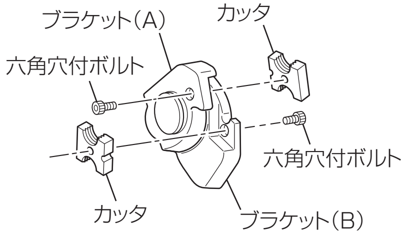
注 **切欠き溝が<あり>と<あり>、<なし>と<なし>の間違った組み合わせでは、全ねじの山 (ピッチ) にカッタのピッチが一致しないため、カッタの刃部が破損したり、機体の早期故障につながります。**



2 カッタとスペーサを取付ける

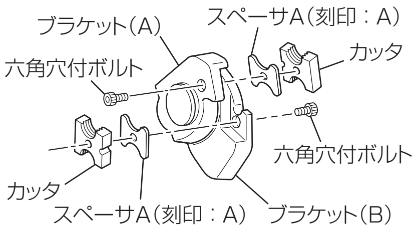
W1/2 カッタの場合 (標準付属)

カッタをブラケット (A)、(B) のカッタ取付け溝に入れ、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、２個のカッタを確実に固定します。
(標準付属のスペーサ A(刻印：A) は使用しません。)



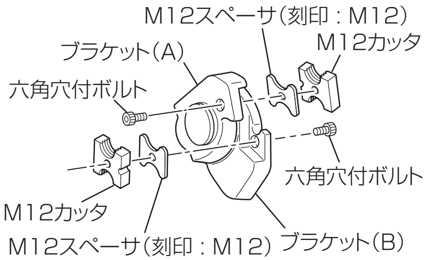
W3/8 カッタの場合 (標準付属)

付属の厚み調整用のスペーサ A (刻印：A) をブラケット (A) とカッタの間、ブラケット(B) とカッタの間に正しく挟み込み、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。



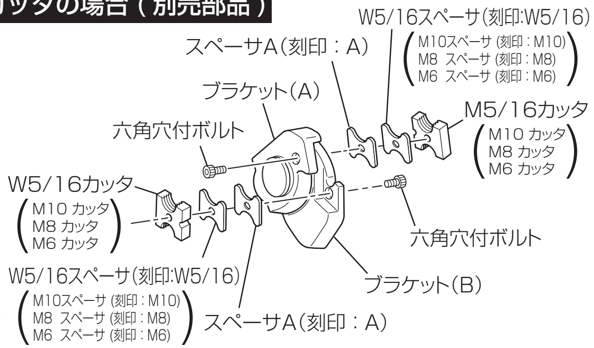
M12 カッタの場合 (別売部品)

M12 カッタにセットの専用の M12 スペーサ (刻印：M12) をブラケット (A) とカッタの間、ブラケット (B) とカッタの間に正しく挟み込み、六角穴付ボルトを六角棒スパナでしっかりと締付けます。
(標準付属のスペーサ A(刻印：A) は使用しません。)



W5/16、M10、M8、M6 カッタの場合 (別売部品)

例えば、W5/16 カッタをご使用の場合、標準付属のスペーサ A (刻印：A) とカッタに同梱の専用スペーサの両方をブラケット (A) とカッタの間、ブラケット (B) とカッタの間に正しく挟み込み、六角棒スパナで六角穴付ボルトを十分に締めて、２個のカッタを確実に固定します。



注
- **W5/16、M12、M10、M8、M6 の各カッタとスペーサはサイズごとにセットです。スペーサ A (刻印：A) は共通です。**
- **カッタに同梱の専用スペーサやスペーサ A (刻印：A) を付けずに使用したり、異なるサイズのスペーサやカッタを付けて使用すると、ねじ山が正しくかみ合わず、全ねじやカッタの刃部を破損しますので、正しく取付けてください。**

つり下げ、固定された全ねじの切断

天井からつり下げたり、壁や床に固定された全ねじを切断する場合、全ねじをカッタにセットする際に、ねじ山のかみ合わせが不安定になりますので、次のようにご使用ください。

1 ねじ山をかみ合わせる

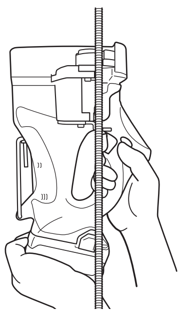
- ブラケット (B) 側のカッタに、全ねじのねじ山を正しくかみ合うようにセットします。
- スイッチを小刻みに ON − OFF しながらカッタを少しずつ閉じていき、全ねじのねじ山と上下両方のカッタのねじ山を完全にかみ合わせます。

2 全ねじを切断する

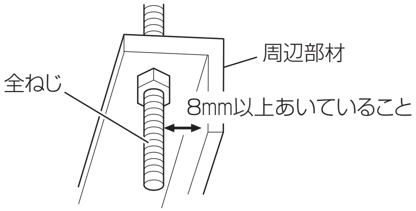
スイッチを完全に引いて、全ねじを切断します。

⚠注意

つり下がりの全ねじを切断するときは、落下防止のため、機体は両手で保持してください。



注 **狭い箇所に固定された全ねじを切断するときは、全ねじと周辺部材に 8 mm 以上の間隔が必要です。**
8 mm 以下では、カッタが周辺部材に当たり、カッタや機体を損傷します。



定寸切断作業

同じ長さの全ねじを数多く切断する定寸切断が、能率よく切断できます。

1 定寸ガイドを作成する

W3/8 全ねじを 1 本、必要な長さ (L) より 20 mm 以上長くして切断し、これを定寸ガイドに利用します。

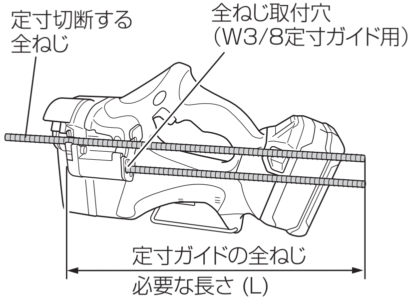
注 **全ねじ取付け穴のねじサイズは W3/8 ですので、定寸ガイドとして使う全ねじは W3/8 をご用意ください。**

2 定寸ガイドを取付ける

- 機体の全ねじ取付穴 (W3/8 定寸ガイド用) に定寸ガイドの全ねじをねじ込みます。
- 定寸ガイドの全ねじの後端部からカッタまでの距離が、必要な長さ (L) になるよう前後に微調整してください。

3 全ねじを定寸切断する

- 切断しようとする全ねじを、定寸ガイドの全ねじと後端部をそろえてカッタにセットし、切断します。
- 必要な長さ (L) に切断されますので、同じ手順で作業を繰り返します。

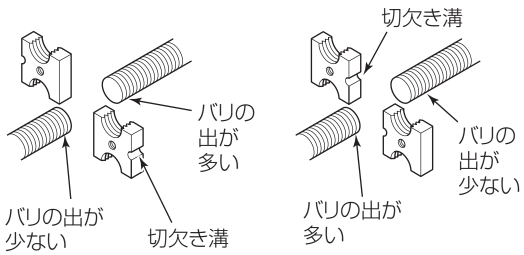


全ねじのバリ取りについて

全ねじを切断する際に、

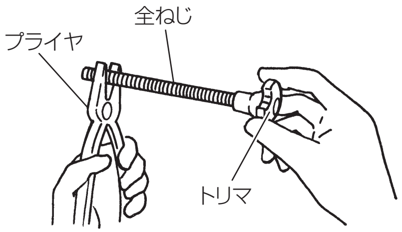
切欠き溝の＜ない＞カッタ側の切り口：バリが少ない

切欠き溝の＜ある＞カッタ側の切り口：バリが多い　　特徴があります。



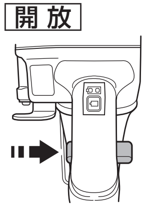
切断後、バリでナットが入りにくい場合には、切り口のバリをニッパ・ヤスリ、市販のアジャスタブルねじ切りダイスなどを使って取ってください。

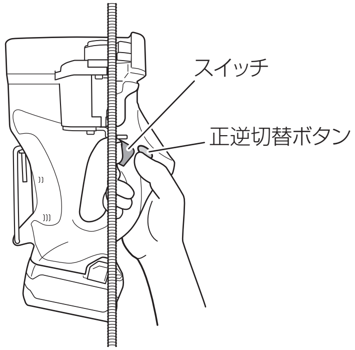
また、フライヤで固定しトリマ（別売部品）で取ってください。



切断途中の全ねじのはずし方

電池残量が少なくなり全ねじ切断作業途中でモーターの回転が停止した場合、すぐに正逆切替ボタンを開放側へ（左から）押し込みながらスイッチを引いて、モーターを逆回転させ、カッタから全ねじをはずしてください。





注
- **電池残量が少なくなり、全ねじ切断作業の途中でモーターの回転が停止した場合だけ開放の位置にしてください。**
- **カッタを全ねじからはずして、スイッチを入れたままにすると、再びカッタが全ねじに食いついてしまいます。**
- **開放の位置で全ねじを切断しようとしてもモーターが過負荷になり、切断できません。また、機体に無理な力が作用し、破損する場合がありますので、開放の位置では切断しないでください。**

保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

●カッタの点検とお手入れ

刃部に欠けや変形を生じたままご使用されると、全ねじの切断部にバリを生じたり、ねじ山が変形して、ナットが入らなくなります。

早めにカッタの取付け向きを変えるか、新品と交換してください。

使用後は、特にカッタの刃部周辺をブラシなどで掃除してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.9「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 **ごみやほこりを排出するため、定期的にモーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。**
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が 50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- **お子様の手が届く場所、持ち出せる場所**
- **軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所**
- **温度が急変する場所、直射日光が当たる場所**
- **引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所**

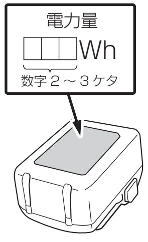
●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が 100 Wh を超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

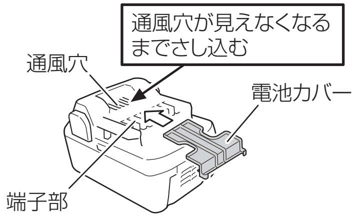


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ｼｮｰﾄ）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

- **収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。**
- **短絡（ｼｮｰﾄ）するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。**



注 **リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。**

蓄電池の残量が少ない状態で長期間（３か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。

充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状　況	原　因	対　策
動かない	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	蓄電池が確実に取付いていない	カチッとなるまで蓄電池をさし込んでください。
	スイッチを引いたまま、蓄電池を取付けた	安全機能が作動したためです。一度スイッチをはなして、もう一度スイッチを引けば動きます。
突然止まった	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池または工具本体が過熱状態になった	蓄電池および工具本体を十分冷ましてください。
	温度保護回路が作動した	機体を十分に冷ましてください。
スイッチが引けない	正逆切替ボタンが「ロック」の位置になっている	「切断」または「開放」の位置にしてください。

メ　モ

メ　モ